



～ 笑う門には福来る ～



「笑う門には福来る！」

ある中学年の女の子が、笑顔でそう言いました。

その屈託のない笑顔と明るい声に、思わず「○○さん、素敵です。」と声をかけました。

日本で古くから伝わることわざではありますが、子供の口から改めてこの言葉を聞くと、はっとさせられます。大人も子供も日常生活の中でいらいらしたり、もやもやしたりして、気付くと眉間にしわを寄せて、つい不満を口にしたり、文句を言ったりすることがありますが、ネガティブな言動で人は幸せな気持ちになることはありません。

笑顔は脳の働きを活性化するとともに、ストレス解消や精神的な安定にも繋がり、幸福感をもたらすことが科学的に証明されているそうです。

きっと、この女の子の家では、家族みんながこの言葉を合言葉に、笑顔いっぱいの毎日にしようと、**ポジティブな気持ち**で生活していらっしゃるのだろうと想像し、幸せな気持ちになりました。

この日以来、心悩ますことがあっても、心の中で「笑う門には福来る」と唱えて、気持ちを切り替えるようにしています。日々、子供たちから学ぶことが本当にたくさんあります。有難いです。

先人は、笑顔にまつわるこんな言葉を残しています。

『優しい笑顔は、思いやりの世界共通言語である』

ウィリアム・アーサー・ワード

『単なる笑顔であっても、想像もできないほどの可能性がある。』

マザー・テレサ

笑う門には福来る。子供たちが優しい笑顔に包まれて成長できますように。

1年生が心を込めて育てている朝顔が咲きました。

朝のひととき。水やりをする1年生たちの会話に耳を傾けると・・・

その会話はまるで**宝箱**のようで、心和む毎日です。



「いちばんてっぺんに咲いたよ。この花、王様みたい。」



「先生、先生、先生！
先生の朝顔が咲いているよ！
「先生の朝顔にも、水あげよう。」



「わあ、ぼくのつる、お隣さんまで伸びているよ。」
「ぼくのつるも。こんなに伸びたよ。」

担任の鉢に咲いた花を見て、まるで、自分の花が咲いたみたいに飛び跳ねながら喜んでいる子供たちの優しい気持ちが心にしみみます。ああ、温かい。毎朝、楽しそうに水やりをしながら大切に朝顔を育てるように、自分も自分以外の人も慈しむ心を育てていってほしいと思います。